

第73回高校展 Eブロック

大阪府立茨田高等学校

鎌田愛弓

大阪府立成城高等学校

北條友美

日時：令和4年8月18日（木）～8月21日（日）

会場：東大阪市役所本庁舎 22F市民ギャラリー 1Fロビー

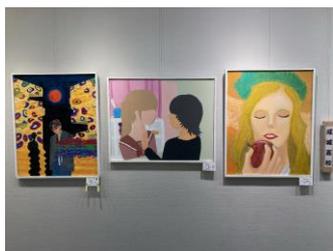
高校展分散開催1年目となった今年、Eブロックは東大阪市役所本庁舎22F市民ギャラリーと1Fホールにて展示をおこなった。市役所ということもあり、1Fロビーは他用とあわせて鑑賞される方も多く、狭い展示スペースながらも多くの方に見てもらえる場所だった。また、22F市民ギャラリーは展望スペースもあり、こちらの会場もたくさんの方が来場された。ただ、土日になると閑散としてしまい、ついでに鑑賞される方が少なくなるので鑑賞者は減少した。会場が2か所に分かれたことから、搬入出や受付などでやりにくさは残った。可能であれば1つの会場で展示できるとスムーズだと思う。

作品は全部で13校100点超の作品が出展され、1つの展覧会のボリュームとしては見ごたえのある量になったと思う。（北條）

1 絵画部門・版画部門

絵画部門は油彩画・アクリル画・切り絵やコラージュなど、多様な作風が並んだ。テーマも様々だがイラストのような作品も多く、絵画部門かデザイン部門のどちらで出品した方がいいか考えさせられる作品もあった。絵画とイラストの違いが、画材や支持体の違いだけになってしまっているように感じる。また、会場の関係で30号サイズの作品が多くなり、大きさが小さくなった分全体の迫力が弱くなった気がした。美術館での展示に戻った時に、100号サイズが描けるか少し不安が残った。

版画部門は1校のみの出品となった。会場が分散されると、出品数の少ない部門がさらに少なくなるので、さみしいなと思う。（北條）





2 デザイン部門

Eブロックデザイン部門は、今回は殆どがイラストの出展となった。テーマは、さまざまだったが、人物作品(特に少女)が多いように感じた。画材はアクリルで描かれたものがほとんどで、ペンや水彩、コラージュ作品は合わせて数点だった。ポスター作品は、あまり見られず、訴えるテーマを決めて意図を明確に表現することは、指導の難しさがあるのかもしれない。

立体デザインは1点のみの展示だった。遠くから見ても全体の造形が面白く、近寄っては細かいつくり込みが見られる作品だった。(鎌田)



3 彫刻・立体部門

立体作品は、Eブロックは4作品だった。作品は、アルミホイル、紙粘土、など色々な素材を使っていた。作品の完成度は、高さがあったり、見えない部分までこだわっているものや作品は細部にまで力を入れているものもあった。

展示スペースに対して大きな作品が多く、作品の全体像を見渡しづらかったように思う。デザイン作品の有孔ボードに囲まれている空間だったため、立体とデザイン作品のスペースがあまりなかった。（鎌田）



4 工芸部門

陶芸は2点出展されていた。どちらも細かく作られており、見えない部分にも造り込みがされていて、時間がかけられていたのがよくわかる作品だった。

立体作品と同様に、展示スペースが少し窮屈になってしまい、引いて見られないのは少し残念だった。展示スペースは今後工夫が必要かもしれない。（鎌田）

